

# 岐阜治水会30周年記念事業に協力しました

令和6年8月21日（水）、JR岐阜駅前「信長ゆめ広場」にて開催された「もしもの時に備えよう 防災フェア」に参加しました。当協会は、VRによる浸水疑似体験やペットボトルを用いた竜巻・雲をつくる気象に関する防災科学実験、「あつ森」の避難学習動画の上映、大雨にソナエルマグネットや近年の豪雨災害記録集2023の配布などを行いました。

来場者からは、「このように災害をまとめてある記録集は勉強になるので、家で読ませて頂きます。」との声があったほか、竜巻をつくる実験が気に入ったようで、繰り返し行うお子さんもいました。過去に水害を経験された方からは、その当時の様子をお話し頂きました。

また、じゅうろくプラザにて「治水・防災シンポジウム in ぎふ」が開催され、「異常気象から極端気象に」をテーマに気象予報士の森田正光さんが講演され、その後「水害に備えた地域でつくる流域治水」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、犬飼所長がコーディネーターを務め、治水の現状や気候変動を踏まえた流域治水の取組などについて討議されました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

## 防災フェア



## シンポジウム

